

## 基調講演

国際都市としての上下水道  
分野の海外事業の取組

一田 大作

Daisaku ICHIDA

北九州市上下水道局 広域・海外事業部長

## プロフィール



1991年 北九州市水道局入職  
2017年 北九州市上下水道局 総務経営部  
広域事業課長  
2022年 同 水道部計画課長  
2023年 同 広域・海外事業部長

## 1. はじめに

北九州市は、九州の最北端に位置する政令指定都市で、今年で市制60周年を迎えました。

本市は、1901年官営八幡製鐵所が操業を開始して以来、「ものづくりのまち」として発展してまいりました。

その過程で1960年代には大気汚染や水質汚濁などの深刻な公害問題を抱えることとなりましたが、市民、企業、行政の一体となった環境改善の取組により、1987年には環境庁から「星空の街」に選ばれるまでに大きく改善されました。

開発途上国では、今まさに発展の時期を迎えており、本市の公害克服の経験を活かし、上下水道や環境の分野で国際技術協力に取り組んでいます。

私からは、北九州市上下水道局の主な国際技術協力と海外水ビジネスの取組についてお話しします。

## 2. 国際技術協力の取組

上下水道局では、1990年から上水道事業の国際技術協力に取り組んでいます。これまでに多くの国へ職員を専門家として派遣し現地指導を行うとともに、各地から多くの研修生を受け入れてきました。

また、カンボジアやベトナムにおいてJICAの技術協力プロジェクトや無償資金協力事業など、多くの案件に関わり、より安全な水の普及に努めるとともに信頼関係を築いてきました。

中でも、カンボジアの首都プノンペンにおける上水道施設の改善については、アジアで数少ない飲める水

道水を実現し、「プノンペンの奇跡」と呼ばれています。

このような、30年以上にわたる国際技術協力が評価され、本年、第25回日本水大賞の大賞を受賞いたしました。

また、下水道分野については、本市と外郭団体である北九州ウォーターサービス連携のもと、ベトナム・ハイフォン市下水道への人材育成業務を皮切りに、インドネシアやカンボジアでも下水道整備のための専門家の派遣や研修生の受入などに取り組んでいます。

## 3. 海外水ビジネスへの展開

海外水ビジネスについては、長年本市が培ってきた豊富なノウハウ・技術と厚い信頼関係をビジネスにつなげていくため、2010年に官民連携組織である北九州市海外水ビジネス推進協議会（KOWBA）を設立しました。

具体的には、KOWBA 会員企業の約140社に様々なプロジェクトの橋渡しを行い、KOWBAの方で業務を受注していただいております。これまでに81件の受注実績となっています。

## 4. おわりに

本市は、職員の技術力向上、国際技術協力及び地元企業の振興を柱に海外事業を展開しています。

今後も、アジアを中心として、各国のニーズに精一杯応えられるように取り組んでいきたいと考えています。